

1. 静溪ポンプ場（土木工事）検証会議の概要

➤ 検証会議の目的

◇公共工事発注者としての業務改善

➤ 経過

◇外部有識者5名及びオブザーバーにより5回の検証会議を開催

◇令和7年3月26日、再発防止策等を示した報告書を市長に提出

➤ 検証会議から示された再発防止策（概要）

①組織としての対応強化のための取組み

a. 設計業務委託段階における取組み

b. 工事施工段階における取組み

②担当職員の資質向上のための取組み

2. 再発防止策の具体化に向けた庁内検討チームでの検討

➤ 庁内検討チーム（6名）

◇建設部（部長、次長） 上下水道部（部長、次長） 総務部（部長、指導検査課長）

◇3月末～7月初め

チーム協議 計7回開催

その他（関係課との調整・府の取組みについての聞き取り
検証会議委員の意見聴取・舞鶴高専との協議）

➤ 最優先検討事項

検証会議から示された①「組織としての対応強化」のうち『社会的、経済的に影響の大きい工事について、**工事担当部署以外の視点でチェックを行う体制の構築**』を**最優先**に検討

3. 工事担当部署以外の視点によるチェック体制

↳ 次の3つの取組みにより、チェック機能の強化を図る

(1) 「（仮称）工事執行技術審査会」の設置

- ◇ 建設技術の管理職で構成
- ◇ 「社会的、経済的に影響の大きい工事」について「a 設計委託段階」から「b 工事施工段階」の各過程の中で必要なポイントにおいて内容等を審査

(2) 「技術アドバイザー制度」の創設

- ◇ 技術アドバイザーの業務
 - ・ 技術審査会へ出席し専門的知見から助言
 - ・ 年間を通じて本市の建設工事に関する技術職員からの相談に対応
- ◇ 舞鶴工業高等専門学校と包括的連携協力に基づき、教員の就任を予定

(3)別コンサルタントによる客観的視点での点検を実施

◇詳細設計の成果に対して、当該設計を行ったコンサルタント以外のコンサルタントに点検業務を委託

4. その他

- チェック体制については、今年9月からの運用開始予定。
- 「担当職員の資質向上のための取組み」については「組織としての対応強化のための取組み」の検討チームに人事部局等も加え、年内の完成を目指して検討中

| 問い合わせ先 | | | | | |
|--|-------|-----|---------|---------|-------------------------------|
| 事業名 | 担当課 | 担当者 | 電話番号 | FAX番号 | メールアドレス |
| 静溪ポンプ場（土木工事）検証会議から示された再発防止策に関する取組みについて | 指導検査課 | 吉田 | 66-1076 | 62-9894 | shidokensa@city.maizuru.lg.jp |